

## 令和5年度事業計画

公益財団法人 医学教育振興財団

令和5年度においては、事業の一層の充実発展を期し、以下の計画を推進する。

### 1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

#### (1) 第41回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内の医科大学1校を選び、医学教育のシステム、カリキュラム等について  
実地に視察研究し、今後の医学教育の改善に資する。

期 日：9月7日（木）・8日（金）/開催校：東邦大学医学部

### 2. 医学教育に関する研究の助成

#### (1) 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒直後教育の調査・研究に対する助成

#### (2) 医学教育賞（懸田賞）

### 3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

#### (1) 第34回「医学教育指導者フォーラム」の開催

国公立医科大学（医学部）における医学教育の改善並びに教育研究組織  
の円滑な管理運営に資するため、医学教育について責任ある立場の者を対象  
に開催する。

期 日：7月25日（火）12：15～17：00

開催方式：対面・オンライン

テーマ：OSCE再訪

#### (2) 英国大学医学部における臨床実習のための短期留学

医学生の派遣

派遣予定校5校（ニューキャッスル・セントジョージ・オックスフォード・グラスゴー・リーズ）

#### (3) 川崎学園・グリーンテンプレトンカレッジ（JMEF）フェローシップ

医学研究者を英国オックスフォード大学グリーンテンプレトンカレッジに  
医学研究等のために留学させる。

### 4. 医学教育資料等の刊行

『J.M.E.F.』の刊行、「国内医科大学視察と討論の会」、「英国短期留学」報告書の  
作成

### 5. その他目的を達成するための事業

内外の関連機関・団体との提携、協力及び交流を行う。

# 令和5年度 事業報告書

(令和5年4月から令和6年3月まで)

公益財団法人 医学教育振興財団

令和5年度においては、事業の一層の充実を図りつつ、次のとおり事業を実施した。

## 1 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

### (1) 第41回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内医学教育事情調査の一環として、東邦大学医学部の協力のもとに「東邦大学医学部における教育」を討論の主題として、大学からの説明、討論、及び学生との懇談を行い、学内施設の視察を行った。全国の国公立大学医学部等関係者90名が参加した。

① 期日：令和5年9月7日(木)・8日(金)

② 場所：東邦大学医学部

③ 討論の主題：

ア 全人的医療人教育と学部連携教育について～信頼し信頼される医師を育てるために～

イ 領域・医学研究、特に医学論文ユニットについて～医学研究への興味・理解、および生涯学習への素地を育むために～

ウ 地域枠選抜で入学した学生の教育について～新潟Love・千葉Loveな学生を育てるための東邦大学医学部の取り組み～

エ 臨床推論演習および診療録記載、臨床実習の評価基準等について～診療参加型臨床実習を円滑に行うために～

④ プログラム：

9月7日(木)

- ・開会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長  
炭山 嘉伸 東邦大学理事長  
盛田 俊介 東邦大学医学部長
- ・特別講演Ⅰ 医学教育の現状と課題  
俵 幸嗣 文部科学省高等教育局医学教育課長
- ・東邦大学医学部カリキュラム概要説明  
三上 哲夫 東邦大学医学部 教育委員会委員長
- ・講演1 全人的医療人教育と学部連携教育について～信頼し信頼される医師を育てるために～  
中田亜希子 東邦大学医学部 全人的医療人教育2領域責任者
- ・講演2 領域・医学研究、特に医学論文ユニットについて～医学研究への興味・理解、および生涯学習への素地を育むために～  
朝倉 敬子 東邦大学医学部 医学研究運営小委員会委員長
- ・講演3 地域枠選抜で入学した学生の教育について～新潟Love・千葉Loveな学生を育てるための東邦大学医学部の取り組み～  
中村 陽一 東邦大学医学部 教務部会長
- ・講演4 臨床推論演習および診療録記載、臨床実習の評価基準等について～診

療参加型臨床実習を円滑に行うために～

高井雄二郎 東邦大学医学部 臨床実習運営管理センター長

- ・学生との懇談
- ・懇親会（グランドプリンスホテル高輪）

9月8日(金)

- ・特別講演Ⅱ 医学教育 DX について～デジタル化された修学情報の分析とアプローチ～  
内藤 篤彦 東邦大学医学部 医学教育 AI活用推進委員会委員長  
特別発言：高松 研 東邦大学学長
- ・総合討論 司会) 泉 美貴 医学教育振興財団運営委員
- ・閉会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長  
高松 研 東邦大学学長
- ・施設見学 CS Labo、1号館8階 SDL センター、医学メディアセンター  
総合研究部研究基盤センター、額田記念東邦大学資料室

## 2 医学教育に関する研究の助成

### (1) 令和6年度「医学教育研究助成」

- ① 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒後医学教育の調査・研究に対する助成事業である。  
令和6年2月2日(金)、本財団審査委員会(オンライン方式)において審査を行い、申請35件のうち以下の10件(新規採択9件・継続承認1件)に助成した。

氏名	所属大学	研究課題(助成額)
柳田 育孝	千葉大学医学部附属病院 総合診療科特任助教	AI 模擬患者を活用した医療面接実習の有用性の検証(50万円)
南谷 優成	東京大学医学系研究科総合放射線腫瘍学講座特任助教	医療系学生によるがん教育の実践効果と生徒の学習能力向上の評価(50万円)
里村 嘉弘	東京大学大学院医学系研究科・医学部 医学のダイバーシティ教育研究センター副センター長・准教授	障害のある医学科学生の修学と合理的配慮の実態調査(50万円)
金 恭平	岡山大学医学部脳神経外科学客員研究員	中枢神経疾患における神経学的異常所見の定量的試み(50万円)
山本 晃	岡山大学病院院内がん登録室(血液腫瘍内科、医学科IR室)助教	AI 支援型の模擬医療面接:研修医のためのBad News 伝達スキルトレーニングプラットフォームの開発(50万円)

村上 雅一	鹿児島大学病院小児診療センター小児外科特任助教	医学生に対する 3D ホログラム提示による疾患解剖の理解を向上する支援システムの構築と評価 (50 万円)
堀 周太郎	慶應義塾大学医学部外科学教室医局講師	感性アナライザ®を用いた、鏡視下手術トレーニングにおける心理状態の客観的解析 (50 万円)
宮上 泰樹	順天堂大学医学部総合診療科学講座助教	初期臨床研修医が関与した診断エラーの実態並びに診断エラーの振り返り効果の調査研究 (50 万円)
西崎 祐史	順天堂大学医学部医学教育研究室先任准教授	OSCE における首掛け型ウェアラブルデバイスを活用した遠隔評価システムの開発 (50 万円)
小澤 悠里	杏林大学付属病院小児科助教	多職種・キャリア格差のあるチーム医療の問題点の明確化とトレーニングカリキュラムの開発 (年度を跨がる研究/2年目) (10 万円)

② 「医学教育研究助成(令和4年度助成)報告会」の開催

令和5年12月22日(金)、医学教育研究助成(令和4年度助成)報告会(オンライン方式)が開催され、以下の報告が行われた。研究助成授与者、文部科学省医学教育課、本財団役員等26名が参加した。

司 会) 北村 聖 医学教育振興財団常務理事  
 開会挨拶) 小川 秀興 医学教育振興財団理事長  
 閉会挨拶・講評) 跡見 裕 医学教育振興財団常務理事

- ・報告1 次世代シミュレータ実習のためのシナリオコンテンツ・仮想映像・自動評価システムの開発  
 大西 詠子 東北大学病院麻酔科手術部講師
- ・報告2 医療面接実習における音声感情解析システムを用いた多方向性フィードバック教育の調査研究  
 越智可奈子 岡山大学学術研究院医歯薬学域(医)医療教育センター助教
- ・報告3 医療系学生における脳血管内治療シミュレーション教育の有用性  
 春間 純 岡山大学学術研究院医歯薬学域脳神経外科助教
- ・報告4 「プラットフォーム」による新しい地域医療教育：自主的な学びと効果的な Faculty development の実現  
 高桑 修 名古屋市立大学大学院医学研究科医学・医療教育学准教授
- ・報告5 Clinical Picture を活用した医学英語論文執筆教育システムの開発  
 大野 洋介 防衛医科大学校総合臨床部副部長・准教授
- ・報告6 音声認識と機械学習を用いた新たな診療教育支援システムの開発  
 小林 正和 東北大学病院救急科助教

(2) 令和5年度「医学教育賞(懸田賞)」

若手の研究者を対象として、医学教育の奨励に貢献のあった者に与える医学教育賞(懸田賞)の第31号を授与した。なお、選考は一般社団法人日本医学教育学会に依頼した。

第31号受賞者：林 幹雄 関西医科大学教育センター講師

論文：Ambivalent professional identity of early remedial medical students from Generation Z: a qualitative study (BMC Medical Education 22 巻 501 号 2022 年)

3 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1) 第34回「医学教育指導者フォーラム」の開催

令和5年7月25日(火)、ハイブリッド方式〔対面(東京慈恵会医科大学)・Zoom ウェビナー〕にて、医学教育に責任のある方々を対象に、全国の国公私立大学医学部等関係者237名(対面43名・ウェビナー194名)が参加し開催された。

① 主題 OSCE 再訪

② プログラム

- ・開会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
- ・挨拶 堀岡 伸彦 文部科学省高等教育局医学教育課企画官
- ・趣旨説明 錦織 宏 名古屋大学総合医学教育センター教授
  
- ・講演1 Considerations for a National Examination of Clinical Skills: the US Experience  
Peter J Katsufraakis  
President and CEO, NBME (National Board of Medical Examiners), USA  
司会) 別所 正美 埼玉医科大学学長
  
- ・講演2 OSCEs in the 21st Century  
Katharine Boursicot  
Director, HPAC (Health Professional Assessment Consultancy), Singapore  
司会) 小西 靖彦 日本医学教育学会理事長/静岡県立総合病院院長
  
- ・総合討論 司会) 北村 聖 医学教育振興財団常務理事
  
- 話題提供 日本文化を考慮した学修者評価  
松山 泰 自治医科大学医学教育センター副センター長・教授
  
- 話題提供 日本における OSCE の歴史的変遷  
伴 信太郎 愛知医科大学医学教育センター特命教育教授
  
- 話題提供 わが国における臨床実習前 OSCE の到達基準  
伊藤 彰一 医療系大学間共用試験実施評価機構医学系 OSCE  
到達基準検討委員長/千葉大学大学院医学研究院  
医学教育学教授
  
- パネリスト) Peter J Katsufraakis/Katharine Boursicot/松山泰/伴信太郎/伊藤彰一
  
- ・閉会挨拶 跡見 裕 医学教育振興財団常務理事

## (2) 第33回「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」の実施

卒前臨床教育の充実向上を図るため、本財団の推薦した日本の医学生が英国の大学医学部において4週間の臨床実習を体験する制度である。

本年度は全国の国公立大学医学部医学科より26名の学生の応募があり、財団の選考委員会による選考を経て15名を派遣することとした。

### ① 留学期間

- ・令和6年3月4日(月)～3月28日(木) ニューキャッスル、セントジョージ、グラスゴー
- ・令和6年5月7日(火)～5月31日(金) セントジョージ
- ・令和6年6月3日(月)～6月28日(金) リーズ

### ② 留学生

- ・ニューキャッスル大学医学部(4名):

青木 優奈 (女)	鳥取大学
生長ありさ (女)	福島県立医科大学
高橋アダム (男)	浜松医科大学
中川 朝子 (女)	名古屋市立大学

- ・ロンドン大学セントジョージ校医学部(4名):

呉 夢季 (女)	東京医科歯科大学
坂本 佳穂 (女)	鹿児島大学
藤森 日彩 (女)	国際医療福祉大学
LIMEISA (女)	徳島大学

- ・グラスゴー大学医学部(4名):

高橋 彩夏 (女)	群馬大学
松尾 賢堯 (男)	大阪大学
三木 佑果 (女)	名古屋大学
森川 綾子 (女)	筑波大学

- ・リーズ大学医学部(3名):

植田 凌平 (男)	広島大学
佐藤 大輝 (男)	順天堂大学
寺木 もも (女)	旭川医科大学

## 4 医学教育資料等の刊行

本財団機関誌『J.M.E.F.』第43号を編集刊行した。また、第41回「国内医科大学視察と討論の会」(開催:東邦大学医学部)報告書、2022年度「英国大学医学部での臨床実習のための短期留学」報告書を作成した。

## 5 その他

### (1) 令和5年度「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」への協力

「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」(文部科学省主催、公益財団法人医学教育振興財団・一般社団法人全国医学部長病院長会議等協力)が令和5年7月26日(水)に

ハイブリッド方式〔対面（東京慈恵会医科大学）とオンライン〕にて開催され、これに協力した。

## 6 会員

全医科大学・医学部 82 校（国立 42 校・公立 8 校・私立 31 校・大学校 1 校）が一般会員として、本財団事業の実施に参画している。

令和 5 年度に賛助会員として、財団の事業にご協力いただいた企業は、次の 11 社である。

アステラス製薬株式会社	アルフレッサ株式会社
学園パーキング株式会社	協和キリン株式会社
塩野義製薬株式会社	株式会社スズケン
武田薬品工業株式会社	第一三共株式会社
中外製薬株式会社	東邦薬品株式会社
株式会社メディセオ	

## 7 寄附金等の募集

本財団が実施する各種事業の一層の拡充を図るため、下記事業にあてることを目的として寄附金等の助成を受けた。

- ・「令和 5 年度 医学教育振興財団事業」に対する寄附として  
株式会社医学書院 50,000 円
- ・「第 34 回 医学教育指導者フォーラム」外国人講師招聘助成として  
公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団 500,000 円

## 8 令和 5 年度 医学教育振興財団 会議録

月 日	会 議 等	議 事
令和 5 年 5 月 30 日(火)	第 23 回 理事会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和 4 年度事業報告について (2) 令和 4 年度収支決算について (3) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 報告 (1) 職務の執行状況について
6 月 14 日(水)	第 15 回 評議員会 (対面及びオンライン方式) (TKP ガーデンシティ御茶ノ水)	議案 (1) 令和 4 年度事業報告について (2) 令和 4 年度収支決算について
7 月 25 日(火)	第 34 回 医学教育指導者フォーラム (対面及びオンライン方式) (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載

7月26日(水)	令和5年度 医学・歯学教育指導者のためのワークショップ (対面及びオンライン方式) (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
8月25日(金)	英国短期留学選考委員会 (ホテル東京ガーデンパレス)	議案 (1) 委員長の選任について (2) 面接試験合格者の決定について
9月7日(木) ～8日(金)	第41回 国内医科大学視察と討論の会 (東邦大学医学部)	詳細は「事業報告書」に記載
10月3日(火)	第1回 運営委員会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和6年度「医学教育指導者フォーラム」のテーマについて (2) 令和7年度「国内医科大学視察と討論の会」開催校候補について
12月11日(月)	第2回 運営委員会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和6年度「医学教育指導者フォーラム」について
12月22日(金)	医学教育研究助成(令和4年度助成)報告会 (オンライン方式)	詳細は「事業報告書」に記載
令和6年 2月2日(金)	審査委員会 (オンライン方式)	議案 令和6年度医学教育研究助成の審査について
3月21日(木)	第24回 理事会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和6年度事業計画について (2) 令和6年度収支予算について 報告 (1) 令和6年度医学教育研究助成決定者について (2) 令和5年度英国短期留学選考結果について (3) 職務の執行状況について

#### 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。

## 令和5年度収支予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

公益財団法人 医学教育振興財団

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計	令和4年度	増 減
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,100,000	900,000	3,000,000	3,800,000	△ 800,000
② 特定資産運用益	2,000,000	0	2,000,000	1,642,000	358,000
③ 受取会費	28,140,000	12,060,000	40,200,000	40,200,000	0
④ 事業収益	300,000	0	300,000	300,000	0
⑤ 受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000	20,000,000	0
⑥ 雑収益	10,000	0	10,000	10,000	0
経常収益計	52,550,000	12,960,000	65,510,000	65,952,000	△ 442,000
(2) 経常費用					
① 事業費	61,615,000		61,615,000	61,615,000	0
奨学金事業費	20,000,000		20,000,000	20,000,000	0
給料手当	17,500,000		17,500,000	17,500,000	0
退職給付費用	500,000		500,000	500,000	0
法定福利費	2,415,000		2,415,000	2,415,000	0
会議費	600,000		600,000	600,000	0
旅費交通費	1,300,000		1,300,000	1,300,000	0
通信運搬費	300,000		300,000	300,000	0
減価償却費	0		0	0	0
消耗品費	100,000		100,000	100,000	0
賃借料	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
調査研究費	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
広報普及費	2,000,000		2,000,000	2,000,000	0
学術会議費	6,000,000		6,000,000	6,000,000	0
研究助成費	4,800,000		4,800,000	4,800,000	0
雑役務費	100,000		100,000	100,000	0
② 管理費		12,205,000	12,205,000	12,205,000	0
役員報酬		60,000	60,000	60,000	0
給料手当		7,500,000	7,500,000	7,500,000	0
退職給付費用		200,000	200,000	200,000	0
法定福利費		1,035,000	1,035,000	1,035,000	0
福利厚生費		110,000	110,000	110,000	0
会議費		50,000	50,000	50,000	0
旅費交通費		500,000	500,000	500,000	0
通信運搬費		100,000	100,000	100,000	0
減価償却費		0	0	0	0
消耗品費		400,000	400,000	400,000	0
光熱水料費		350,000	350,000	350,000	0
賃借料		1,200,000	1,200,000	1,200,000	0
諸謝金		100,000	100,000	100,000	0
交際費		100,000	100,000	100,000	0
雑役務費		500,000	500,000	500,000	0
経常費用計	61,615,000	12,205,000	73,820,000	73,820,000	0
当期経常増減額	△ 9,065,000	755,000	△ 8,310,000	△ 7,868,000	△ 442,000
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,065,000	755,000	△ 8,310,000	△ 7,868,000	△ 442,000
一般正味財産期首残高	368,038,078	99,601,159	467,639,237	475,507,237	△ 7,868,000
一般正味財産期末残高	358,973,078	100,356,159	459,329,237	467,639,237	△ 8,310,000
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	358,973,078	100,356,159	459,329,237	467,639,237	△ 8,310,000

# 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	96,747	65,529	31,218
預金	7,292,440	12,133,922	△4,841,482
流動資産合計	7,389,187	12,199,451	△4,810,264
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	10,197,924	10,135,450	62,474
国際交流事業基金			
投資有価証券	210,000,000	210,000,000	0
預金	18,606,824	18,609,194	△2,370
特定資産合計	238,804,748	238,744,644	60,104
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
電話加入権	233,400	233,400	0
その他固定資産合計	233,400	233,400	0
固定資産合計	539,038,148	538,978,044	60,104
資産合計	546,427,335	551,177,495	△4,750,160
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	856,417	768,961	87,456
流動負債合計	856,417	768,961	87,456
2 固定負債			
退職給付引当金	10,197,924	10,135,450	62,474
固定負債合計	10,197,924	10,135,450	62,474
負債合計	11,054,341	10,904,411	149,930
<b>III 正味財産の部</b>			
1 一般正味財産	535,372,994	540,273,084	△4,900,090
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)	(300,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	(228,606,824)	(228,609,194)	(2,370)
正味財産合計	535,372,994	540,273,084	△4,900,090
負債及び正味財産	546,427,335	551,177,495	△4,750,160

**正味財産増減計算書**  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,896,184	2,765,300	130,884
② 特定資産運用益	2,340,488	2,346,771	△ 6,283
③ 受取会費	40,200,000	40,200,000	0
④ 事業収益	255,000	101,230	153,770
⑤ 受取寄付金	550,000	550,000	0
⑥ 雑収益	268	294	△ 26
経常収益計	46,241,940	45,963,595	278,345
(2) 経常費用			
① 事業費	39,178,338	33,639,905	5,538,433
奨学金事業費	0	0	0
給料手当	17,474,929	15,845,008	1,629,921
退職給付費用	940,053	1,543,895	△ 603,842
法定福利費	2,501,195	2,326,479	174,716
会議費	28,056	26,538	1,518
旅費交通費	62,500	40,220	22,280
通信運搬費	214,284	219,272	△ 4,988
減価償却費	0	0	0
消耗品費	125,466	152,135	△ 26,669
賃借料	2,565,900	2,565,900	0
調査研究費	2,112,784	2,187,338	△ 74,554
広報普及費	209,616	359,958	△ 150,342
学術会議費	8,003,475	3,453,962	4,549,513
研究助成費	4,750,000	4,730,000	20,000
雑役務費	190,080	189,200	880
② 管理費	11,963,692	11,786,792	176,900
役員報酬	60,000	60,000	0
給料手当	7,489,256	6,790,718	698,538
退職給付費用	402,880	661,669	△ 258,789
法定福利費	1,071,939	997,060	74,879
福利厚生費	43,764	135,024	△ 91,260
会議費	423,610	490,294	△ 66,684
旅費交通費	39,000	27,840	11,160
通信運搬費	50,426	82,892	△ 32,466
減価償却費	0	0	0
消耗品費	255,809	368,708	△ 112,899
光熱水料費	371,353	362,735	8,618
賃借料	1,086,624	1,085,964	660
諸謝金	99,000	99,000	0
交際費	70,070	100,000	△ 29,930
雑役務費	499,961	524,888	△ 24,927
経常費用計	51,142,030	45,426,697	5,715,333
当期経常増減額	△ 4,900,090	536,898	△ 5,436,988

科 目	当年度	前年度	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,900,090	536,898	△ 5,436,988
一般正味財産期首残高	540,273,084	539,736,186	536,898
一般正味財産期末残高	535,372,994	540,273,084	△ 4,900,090
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	535,372,994	540,273,084	△ 4,900,090

正味財産計算書内訳表  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,027,329	868,855		2,896,184
② 特定資産運用益	2,340,488	0		2,340,488
③ 受取会費	28,140,000	12,060,000		40,200,000
④ 事業収益	255,000	0		255,000
⑤ 受取寄付金	550,000	0		550,000
⑥ 雑収益	268	0		268
経常収益計	33,313,085	12,928,855	0	46,241,940
(2) 経常費用				
① 事業費	39,178,338		0	39,178,338
奨学金事業費	0			0
給料手当	17,474,929			17,474,929
退職給付費用	940,053			940,053
法定福利費	2,501,195			2,501,195
会議費	28,056			28,056
旅費交通費	62,500			62,500
通信運搬費	214,284			214,284
減価償却費	0			0
消耗品費	125,466			125,466
賃借料	2,565,900			2,565,900
調査研究費	2,112,784			2,112,784
広報普及費	209,616			209,616
学会会議費	8,003,475			8,003,475
研究助成費	4,750,000			4,750,000
雑役務費	190,080			190,080
② 管理費		11,963,692	0	11,963,692
役員報酬		60,000		60,000
給料手当		7,489,256		7,489,256
退職給付費用		402,880		402,880
法定福利費		1,071,939		1,071,939
福利厚生費		43,764		43,764
会議費		423,610		423,610
旅費交通費		39,000		39,000
通信運搬費		50,426		50,426
減価償却費		0		0
消耗品費		255,809		255,809
光熱水料費		371,353		371,353
賃借料		1,086,624		1,086,624
諸謝金		99,000		99,000
交際費		70,070		70,070
雑役務費		499,961		499,961
経常費用計	39,178,338	11,963,692	0	51,142,030
当期経常増減額	△ 5,865,253	965,163	0	△ 4,900,090
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計		0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,865,253	965,163	0	△ 4,900,090
一般正味財産期首残高	430,695,124	109,577,960		540,273,084
一般正味財産期末残高	424,829,871	110,543,123		535,372,994
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	424,829,871	110,543,123		535,372,994

## 附 属 明 細 書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	300,000,000	0	0	300,000,000
	基本財産計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産	退職給付引当資産	10,135,450	1,342,933	1,280,459	10,197,924
	国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	0	0	210,000,000
	国際交流事業基金(普通預金)	18,609,194	0	2,370	18,606,824
	特定資産計	238,744,644	1,342,933	1,282,829	238,804,748

### 2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	10,135,450	1,342,933	1,280,459	0	10,197,924

# 財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	96,747	
預金	<普通預金> みずほ銀行町村会館出張所	運転資金として	7,208,820	
	<通常貯金> ゆうちょ銀行	運転資金として	83,620	
流動資産合計			7,389,187	
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第59回ソフトバンクグループ社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。(共用財産)	300,000,000
特定資産	退職給付引当資産	<普通預金> 三菱UFJ銀行赤坂支店	職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	10,197,924
	国際交流事業基金	<投資有価証券> イオンモール第27回無担保社債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	210,000,000
		<普通預金> 三菱UFJ銀行虎ノ門支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	18,606,824
その他の 固定資産	什器備品	財団内：金庫、書架他	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。(共用財産)	0
	電話加入権	財団内：03-3815-3895他2本	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。(共用財産)	233,400
固定資産合計			539,038,148	
資産合計			546,427,335	
(流動負債)				
	未払金	職員	職員1名の3月分の超過勤務手当として	0
	預り金	職員	職員3名の源泉所得税、社会保険料、住民税の預かり分	856,417
流動負債合計			856,417	
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員3名に対する退職金の支払いに備えたもの	10,197,924
固定負債合計			10,197,924	
負債合計			11,054,341	
正味財産			535,372,994	